

福神海山の海底地形調査*

Bathymetric Survey of Fukuzin Sea Mount

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

水路部では、1994年（平成6年）6月に測量船「昭洋（1990 総トン）」及び自航式ブイ「マンボウ」により南方諸島福神海山の海底地形調査を実施したので、結果について報告する。

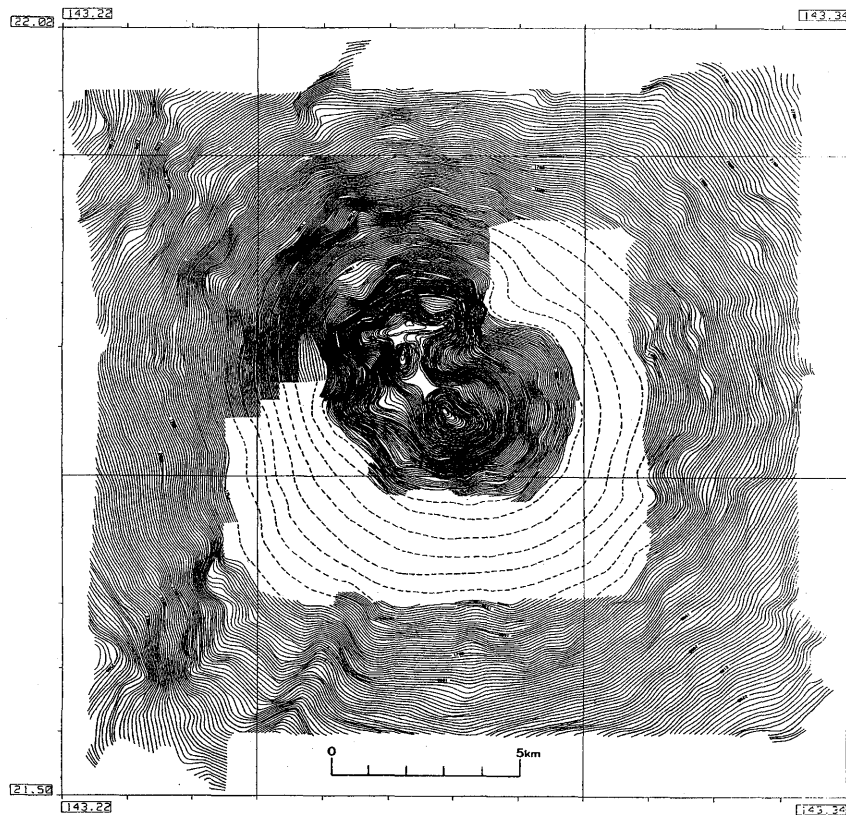
調査は、福神海山の山頂付近の21-56N, 143-28Eを中心として、東西約3海里四方の海域を「マンボウ」による測深区域とし、その外側約2海里を「昭洋」による測深区域とした。

本調査で得られたデータを基に作成した海底地形図を第1図に示す。破線の等深線部分は、未測深区域である。

これによると、福神海山の山体は、きれいな円錐形の形状をしている。山頂部の最浅水深は43m（21°56.0'N, 143°27.8'E）であり、近年における大規模変色水の湧出等の活発な火山活動は、ここで行われたと考えられる。

山体の勾配は、水深1,500m付近で約10°、800m付近では北東～南にかけて約13°、西～北にかけて約21°となっており、山頂から北西方向の勾配が大きくなっている。これは、山頂から北西方向に尾根状に伸びている水深約300mの平坦地に起因している。山頂から北西約1海里には、平坦地からの比高約150m、最浅水深150mのたかまりがみられた。

北西方向の勾配が他方向に比べて極めて大きいことから、北西方向の高まりは、山体形成後にできたと考えられる。平坦地の東側には、東～北東方向に、西側には南西～西方向にそれぞれ谷地形がみられた。



第1図 福神海山の海底地形図
Fig. 1 Topography of Fukuzin Sea Mount

* Received 19 Mar., 1996